



南条っ子

南条小学校だより

教育目標 **ともに学び、豊かな心で未来を切り拓く子の育成**

南条っ子は **進んで学ぶ子**

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和7年5月9日発行

第2号



風薫る5月

～南条っ子の力で、いい風を吹かそう～

令和7年度のスタートから1ヶ月がたちました。日野山をはじめとするふるさと山々の若葉がぐんぐん生長していることが見て取れます。この1ヶ月の南条っ子の成長の姿に重なります。

また、5月はさわやかな風が吹く気持ちの良い季節です。「風」はそこに生活する人々がつくり出す「雰囲気」「空気感」にも通じます。それらは、例えば話す言葉・表情・態度などから生まれます。南条っ子一人一人が得意なことや良さを生かして「いい風」をつくって吹かせる5月にしましょう。

○令和7年度「体育大会」近づく



いよいよ今週から全体練習が始まりました。6年生を中心に各色の応援合戦の練習にも熱が入ります。環境整備として、グラウンドの石拾いや草取りも行います。当日はぜひご来校いただき、お子様が一杯頑張る様子をご覧ください。



<大会テーマ> 一致団結 突き進め ともに かがやけ 南条っ子

赤組テーマ 炎の中から 飛び上がり 優勝目指し 突き進め ファイヤーフェニックス

青組テーマ 青い空に 舞い上がり 優勝カップを つかみとれ ブルードラゴン

○令和7年度PTA活動のスタート

4月19日(土)にPTA総会が開催されました。当日は、多数の保護者の皆様に授業参観や総会に出席していただきました。

総会では、旧会長の奥村様から、令和6年度の活動を振り返り、「子どもたちの『学びを育む学校』、『成長を促す家庭』、『安全を見守る地域』をつなぐのがPTAの役割であることを実感した」という趣旨の退任のご挨拶をいただきました。旧副会長の丸岡様からは、図書ボランティアで見られる南条っ子の笑顔の連鎖について触れられ「笑顔の素を創ってくださっているのは各家庭」という趣旨のご挨拶をいただきました。令和7年度も会員(保護者)の皆様には、南条っ子の健やかな成長をともに願いながらご支援を賜りますようどうかよろしく願いいたします。



この日、校門横の八重桜が満開でした。↑

花言葉は「豊かな教養」「善良な教育」

<新役員の紹介>

PTA会長：小谷 文也 様

PTA副会長：赤澤 孝明 様、三井 あかり 様

総務委員長：小川 裕之 様

総務副委員長：春田 宏憲 様

広報委員長：西山 幸助 様

広報副委員長：早田 直純 様

校外安全委員長：次田 弘 様

校外安全副委員長：桂木 美咲 様

～PTAからお知らせ～

これまで、慣例的に5年生児童の保護者から選出された男性副会長に次年度の会長職を引き受けていただけてきましたが、令和9年度から男女いずれかの副会長に次年度の会長職を引き受けていただくこと(令和8年度の副会長選出時に改めてアナウンスする)といたしました。ご了承ください。(PTA総会で小谷会長より説明)

○令和7年度 第1回学校運営協議会開催

4月30日(水)に今年度第1回目となる学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会・地域学校協議会は、学校運営や運営上必要な支援に関して協議する機関として、県内すべての小中学校に設置されています。当日は、本校のスクールプランや年間行事計画について学校から提案や説明を行い、その後、地域や家庭での子どもたちの様子について情報交換を行いました。今後は学期に1回程度の開催を予定しています。

<委員の紹介>

小谷 文也 様(委員長) 赤澤 孝明 様(副委員長)
三井 あかり 様(PTA副会長) 和田 幸江 様(社会教育委員)
加藤 幹生 様(人権擁護委員) 内藤 恵美子 様(主任児童員)
西山 幸和 様(南条っ子を見守る会会長) 田原 美和(校長)
出口 久善(教頭・事務局長) 樫尾 亮子(教務主任)



以上10名

<情報交換の主な話題>

- ・朝の集団登校について、新学期なので子どもたちが張り切って集合し、登校時間が多少早まっている班がある。安全のために時間を確認し守るよう指導する。
- ・グリーンベルトや歩行者優先地帯が設置された箇所について、地域住民に知らせる必要がある。自転車や自動車の運転手が理解していないと危険である。
- ・休日や放課後に学校外で子どもたちだけで遊ぶ時、場所や内容に危険な場合がある。

ある日の休み時間、中学年のオープンスペースで大縄とびが始まりました。大勢の子らが楽しそうにリズムカルにくぐりぬけていきます。縄を回す二人の息もぴったりで、跳ぶ子に合わせて調節しているようにも見えます。けれども、毎回うまくいくとは限りません。跳んでいる子が失敗してつまづくこともあれば、転んで痛い目にあうこともあります。時にはちょっとしたこぜり合いがおきたりもします。けれど、すぐに笑顔で大縄を楽しむ姿に戻っていくのです。遊びは子どもにとって大事な経験だと改めて感じました。失敗もする、励ましの声をかけてあげる、多少痛くても恥ずかしくてもまた起き上がってチャレンジする、みんなが楽しめるようルールの変更を提案してみる、友だちと折り合いをつける…など、子どもたちの柔軟性には驚かされます。よほどのことがなければ私たち大人が入る余地はありません。



休み時間には、南条っ子たちはいろいろな遊びを友だちと楽しんでいます。お互いの顔を見て、言葉を交わして、心を感じて…人と関わることを学んでいることを実感します。南条っ子が、青空に力強く泳ぐこいのぼりのように、今日も元気でありますように。

